

www.jwing.net
mail@jwing.net



パダプチェキル (江陵)



タッカルビ (春川)



南怡島 (春川)

カンウォンド

강원도

G A N G W O N D O

江原道インセンティブ特集

美しい海岸線から絶景の山岳地帯まで、自然とグルメの宝庫、江原道。
平昌五輪レガシーやDMZ平和観光など、ここにしかない体験プログラムも充実。
チームビルディングに最適な目的地、インセンティブツアーは江原道へ行こう！



端午祭 (江陵)



カーリングセンター (江陵)



鏡浦台 (江陵)



松茸 (襄陽)



スキージャンプ台 (平昌)



労働党舎 (鉄原)



江村レールバイク (春川)



正東津 (江陵)



烏竹軒 (江陵)



ユネスコ世界無形文化遺産 端午祭 (江陵)



ムルレキル (春川)

江原道インセンティブ特集

カンウォンド

インセンティブツアーは江原道へ行こう!

GANGWON-DO

韓国の江原道は、2018年の平昌冬季五輪の開催地となったことで、一躍世界の脚光を浴びた。日本では「冬のソナタ」のロケ地となった南怡島（ナミソム）が有名だが、韓国を代表する名山の雪岳山や、美しい海岸線、海と山の幸を活かしたグルメも多彩。さらに、オリンピック・レガシーを活かしたカーリング体験や、非武装地帯（DMZ）での平和観光など、ここでしか体験できないプログラムが充実している。平昌五輪を契機にソウルからのアクセスも格段に整備され、新たなホテルなどのファシリティも充実した江原道。インセンティブツアーは新たな発見に溢れた江原道がおすすめだ。

江原道を訪れるべき7つの理由

1 オリンピック・レガシー

平昌冬季五輪は、オリンピック&パラリンピックともに史上最多の選手が出演。カーリングやスピードスケート、フィギュアスケートなど多くの種目で熱い闘いが繰り広げられたことは記憶に新しい。平昌五輪の開催地となった江原道には、様々なオリンピック・レガシーが残されている。

2 ここにしかない体験プログラム

オリンピック・レガシーを活用したカーリング体験は、チームビルディングに最適なイチ押しの体験プログラム。また、平和と希望の象徴になった非武装地帯でのDMZ平和観光は、江原道ならではの観光プランとして新たな発見を与えてくれるだろう。

3 ホテルのファシリティがさらに充実

平昌冬季五輪の開催にともない、新規ホテルが続々とオープン。海に面した景観の素晴らしいホテルや、天然温泉の大浴場があるホテルなど、どれも特徴的なホテルばかり。江原道での滞在をより記憶に残るものにしてくれる。

4 豊かな自然、四季折々の景観

美しい山岳地帯から、南北に伸びた長い海岸線まで、江原道は多彩な自然景観が魅力。四季折々に、春は桜、夏は海、秋は紅葉、冬はスノーアクティビティなどが楽しめる。インスタ映えるスポットも満載だ。

5 海と山の幸、グルメ三昧

自然が豊かな江原道だからこそ、海と山の幸を活かしたグルメは魅力。新鮮な海鮮料理や、豊かな土壌が育む松茸料理、高地で育成された韓牛など、江原道はグルメの宝庫。一度食せばやみつきになるタッカルビやマッコッスも外せない。

6 日本からより近く！アクセス便利に

平昌五輪を契機に日本から江原道へのアクセスもさらに便利になった。KTXならソウル駅から平昌駅まで約1時間半、江陵駅まで約2時間、高速道路でもソウルから春川まで約1時間半、束草まで約2時間で行ける。

7 充実の支援プログラム

江原道ではインセンティブツアー向けの豊富な支援プログラムを用意している。ハンドメイドのウェルカムギフトをはじめ、歓迎パナー、歓迎公演を用意して、江原道へのインセンティブツアーの来訪を歓迎している。

春川 (チュンチョン)



ソヤンガン

昭陽江スカイウォーク

全長174mの韓国最長のスカイウォーク。透明なガラスの橋をわたり、先端の円形広場まで行ける。美しい湖の景色が堪能できる。日没後は5色に光り輝く照明でライトアップされ、幻想的な光の世界を楽しめる。



ナミソム
南怡島

「冬のソナタ」のロケ地として有名な南怡島。美しいメタセコイヤの並木道は、四季折々に美しい感動を与えてくれる。南怡島では年間を通じて美術展や音楽会などのアートフェスティバルが開かれており、インセンティブツアーのチームビルディング会場として、趣向を凝らしたイベントなども企画できる。



統一展望台

北朝鮮と最も近い展望台。海拔700mの高さから北朝鮮が間近に見渡せる。展望台からは、北朝鮮の名山といわれる金剛山や、海の新金剛山といわれる海金剛を肉眼で見ることができる。



DMZ博物館

韓国と北朝鮮の平和と、韓半島の安定を願って建てられた博物館。東海岸の最北端の軍事境界線（Demilitarized Zone=DMZ）に近い民間人統制区域内にある。朝鮮戦争の歴史と平和を希求する人々の思いに触れられる。

高城 (コソン)



ソラクサン
雪岳山

韓国を代表する名山のひとつ。奇岩絶壁が連なる外雪岳をはじめ、内雪岳、南雪岳からなり、一帯が国立公園に指定されている。外雪岳では、ケーブルカーと徒歩20分ほどで権金城の山頂まで登ることができ、絶景の山並みを堪能できる。春には桜と雪山のコラボレーション、秋には色彩豊かな紅葉が楽しめる。

束草 (ソクチョ)



アリヒルズ

標高580mの高地にあるアリヒルズは、美しい自然を満喫できる複合リゾート。アリヒルズスカイウォークでは、ガラス張りの展望台から足下に広がる絶景を一望できる。また、山頂から麓まで急降下するジップラインも人気。

旌善 (チョンソン)



チョンドンシンゴク

正東深谷バダブチェキル

2016年にオープンした江陵の新名所。奇岩や絶壁が続く海岸段丘に沿って遊歩道が整備されており、海の景色を楽しみながら散歩が楽しめる。もとは軍事地域だったが一般開放され、その景観の美しさから人気を集めている。



アンモク
安木コーヒー通り

海岸線に沿って約30店舗のカフェが続くお洒落な通り。コーヒー通りの向かい側には、白いビーチが続く。コーヒーの香り漂う店内では、海を眺めながら特別なひとときを過ごすことができる。安木コーヒー通りの発祥とされる自動販売機のコーヒーを飲みながら、浜辺でのんびりするのにおすすめ。



オジェウコン
烏竹軒

韓国の儒学者で政治家の栗谷李珥（ユルゴク・イ）と、その母で芸術家の申師任堂（シン・サイムダン）の生家。ユルゴクは民俗の師匠、サイムダンは民俗の母と呼ばれ、それぞれ韓国5000ウォン札、5万ウォン札に採用されている。庭を囲んで建てられた韓屋建築なども見学できる。

江陵 (カンヌン)



海列車

海岸線を走る人気の観光列車。江陵から東海、三陟までの約58kmを結ぶ。海岸線のすぐ近くを線路が走っており、車窓のすぐ外には美しい海が広がる。海列車には通常のボックスシートのほか、海側を向いて座るシートなども設けられている。途中駅の正東津駅は、「世界で最も海と近い駅」としてギネスに登録されており、駅のホームから見渡す海は絶景。インスタ映えるスポット。

江原道インセンティブ特集

チームビルディングに最適！ 江原道ならではの体験プログラム

江原道では、チームビルディングに最適な様々な体験プログラムを提供している。オリンピック・レガシーの一つであるカーリング体験は、2チームに分かれて対戦方式で行うため、チームが一体となって盛り上がるチームビルディングに最適なプログラム。また、韓国の伝統料理作り体験や、伝統民謡のアリランを学ぶプログラムは、韓国の文化に触れられる体験としておすすめだ。さらに、DMZ平和観光は、韓半島と世界の平和を望む人々の思いに触れることができ、新たな発見を与えてくれる。江原道ならではの体験プログラムをぜひ組み込みたい。

チーム対戦方式で盛り上がる

カーリング体験

平昌冬季オリンピック・パラリンピック大会では、カーリング女子で韓国が銀メダル、日本が銅メダルに輝き、日本でも大きな注目を集めたことは記憶に新しい。試合途中の休憩時間は「もぐもぐタイム」と呼ばれ、日本代表チームの「そだねー」は流行語大賞に選ばれるなど、一躍脚光を浴びた。また、韓国代表チームのスキップとして活躍した金恩貞選手は、日本で「メガネ先輩」の愛称で呼ばれるなど人気を博した。

そんな人気のカーリング競技。江原道なら、平昌五輪でメダル争奪戦の舞台となった江陵カーリングセンターで、カーリング体験が楽しめる。カーリングは氷上のチェスとも呼ばれ、頭脳戦を楽しむスポーツだが、ハウスと呼ばれる円の中心部により近く、より多くのストーンを置いた方が勝ちというのがルールの基本で分かりやすい。

江陵カーリングセンターでは、指導員がストーンの投げ方、ブルーム（ブラシ）でのスウィーピングの行い方、得点の数え方などを事前にレクチャーしてくれるため、初心者でも安心してカーリング体験を楽しめる。司令塔のスキップが発する「エイッ！」（スウィーピングして）、「アップ！」（スウィーピングをやめて）などの掛け声も試してみれば、さらにカーリング体験が盛り上がることも間違いなし。

江陵カーリングセンターには平昌五輪で金、銀、銅メダルが授与された表彰台も残されている。あの熱い感動をそのままに、記憶に残るチームビルディング体験を行ってみたいかがだろうか。

チームで協力して料理を仕上げよう

静江園で伝統料理文化体験

江原道へのインセンティブツアーでは、多彩なグルメを楽しむのも大きな楽しみのひとつだが、実際に韓国の伝統料理を作ってみる料理体験プログラムもおすすめ。

平昌には、韓国伝統料理の母と呼ばれる料理研究家のチョ・ジョンガンさんが建てた「韓国伝統飲食文化体験館」があり、伝統料理の調理体験や、韓服体験、韓屋での宿泊体験が行える施設が整っている。

伝統料理の調理体験では、先生のアドバイスを受けながら、ビビンバをはじめ、コチュジャン作りやキムチ作りなどが体験できる。チームで力を合わせて作りあげた料理は、お店で食べるのとはまた違う格別な味がするに違いない。

江原道でグルメ三昧♪ 海の幸から山の幸まで

春川タッカルビ

鶏肉をキャベツ、タマネギ、ニンジンなどの野菜とともに、甘辛いコチュジャンを絡ませて鉄板焼きにした春川の名物料理。一度食べたら病みつきになる味。春川明洞タッカルビ通りは人気のグルメスポット。最後にご飯や麺を入れてしめる。

春川マックス



小麦粉ではなく、蕎麦粉で作った麺に独特の辛くて甘い味付けをした春川マックスは食欲をそそるだけではなく、美肌にもいい美容食。マックス固有のピリ辛味は、夏に食べるとより涼しい感じを与えてくれる。

松茸料理



襄陽は韓国最大の松茸の産地で、毎年9月には松茸フェスティバルも開かれる。香り豊かな松茸料理を楽しみたい。松茸鍋、松茸ブルコギ、松茸の塩焼き、松茸ご飯などがある。



草堂純豆腐(スンドゥブ)



純韓国産の大豆を使用し、海水をにがりの代わりに使った伝統製法のおぼろ豆腐。専門店が集まる草堂スンドゥブ村で味わえる。大豆の甘みを活かした太白スンドゥブや辛みを効かせた鍋などバリエーションあり。パンチャとともに味わう。

韓牛



韓国の高級牛肉・韓牛。江原道では、太白山の山麓で飼育された太白韓牛や、霜降りの横城韓牛が有名。ステーキや炭火焼きなどで、牛肉本来の味を楽しみたい。

韓紙の紙すき体験や工芸品作りも

韓紙作り体験

江原道の名産品のひとつに、韓紙（ハンジ）がある。江原道原州市は、昔から韓紙作りが盛んなところで、「原州韓紙テーマパーク」では韓紙の紙すき体験や工芸品作りにチャレンジできる。手作りの工芸品をお土産に持ち帰れば、旅の思い出も一層深まるだろう。

原州市では毎年9月に「原州韓紙文化祭」も開催され、原州の上質な韓紙文化を次世代に継承している。韓紙文化祭では、韓紙作り、韓紙工芸、韓紙灯作りなどが体験でき、さまざまな展示イベントも行われる。

韓服で特別なパーティを演出

韓服体験

特別なパーティを楽しみたいなら、韓服を着用してのパーティがおすすめだ。とくに女性のチャマチョゴリは、色もカラフルでスタイルも可愛らしく、インスタ映える写真撮影に最適。韓国でも若者を中心に韓服の人气が再燃している。

ホテルのバンケットルームで開く通常のパーティでも、参加者全員が韓服を着て参加すれば、特別なテーマパーティに早変わり。チャマチョゴリは曲線的なラインがふんわりと美しく見え、誰にでも似合うのも嬉しいところ。また、可愛らしい見た目の割に動きやすいのも特徴で、約100年前まで日常的に着用されていたというものもずける。韓服体験を通じて、韓国の生活文化に触れたい。

ゆったり流れる時間と景色を堪能

レールバイク体験

廃線後のレールを4輪自転車で走る「レールバイク」は、自らの脚でペダルを漕ぎながら、周囲の自然風景をゆっくりと楽しめるのが人気のアトラクション。江原道には、山の中を走る「旌善レールバイク」、海辺を走る「三陟海洋レールバイク」、川沿いを走る春川の「江村レールバイク」があり、それぞれに異なる美しい景観が楽しめるとして人気を集めている。

レールバイクには2人乗り、4人乗りがあり、少人数のチームで自転車での小旅行を楽しめる。コースにもよるが、走行時間は1～2時間程度。ゆったりと流れる時間と景色を楽しみたい。



お祭りやイベント多数! 江原道の文化や自然を継承

江陵端午祭



端午祭はユネスコ無形文化遺産に登録された伝統の祭り。毎年5月末から6月末に行われる。江原道は全面積の約82%を山地が占めており、山神に祈りを捧げる儀式などが行われる。また、能楽跳演や仮面劇、伝統遊びなど、公式行事だけで50以上におよぶ。

考古文化祭



毎年ソバの花が咲く9月頃に平昌の蓮坪で行われるお祭り。山腹一帯が白いソバの花で埋め尽くされる様子は圧巻。お祭りでは、蕎麦粉で作ったマックスやチヂミ、ムツなどの伝統料理が味わえる。

ヤマメ祭り



華川のヤマメ祭りは、湖も凍る寒い冬に行われるお祭り。分厚い湖の氷に穴を開けて楽しむヤマメ釣りには多くの愛好家が集まる。素手でヤマメを取ってその場で焼いて食べるつかみ取りなども人気。

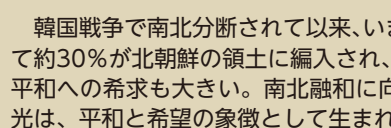
スキーや雪遊びを楽しもう

スキーレsspプログラム

江原道は韓国スキーリゾートの中心。そんな江原道へのインセンティブツアーなら、スキーレsspプログラムを組み込むのも面白い。日本ではスキー場が遠い、ウェアや用具のレンタルも面倒といった理由でスキーから遠ざかっていた方でも、江原道ならお任せあれ。インセンティブツアーなら、ウェアも用具も丸ごと準備。あとはスキーを楽しむだけ。指導員からスキーレsspを受けるもよし、雪合戦などの雪遊びで盛り上がるもよし。童心に返ってスキーや雪遊びを楽しめば、仲間との絆も深まるに違いない。

DMZは平和と希望の象徴に

DMZ平和観光



韓国戦争で南北分断されて以来、いままも休戦状態が続く韓半島。江原道は、休戦によって約30%が北朝鮮の領土に編入され、分断状態が続く世界唯一の地域だ。それゆえに、平和への希求も大きい。南北融和に向けた努力が続く中、非武装地帯でのDMZ平和観光は、平和と希望の象徴として生まれ変わりつつある。

江原道高城郡にある「統一展望台」は、北朝鮮から最も近い展望台で、北朝鮮の金剛山や海金剛が肉眼で見渡せる。1983年に建てられた古い展望台の横には、新しい展望台も建てられ、周辺の散策路などの整備も進められている。

統一展望台を訪れるなら、韓半島の歴史に詳しいガイドの解説を聞くことを是非おすすめしたい。展望台から眺めると、海に浮かぶ小島の松島(ソンド)を境に、手前が韓国、向こう側が北朝鮮。また、山側に目を転じれば、山頂には韓国と北朝鮮の見張り台が近接して建てられており、緊張状態にあった住時が偲ばれる。現在、見張り台は使われていない。

DMZ平和観光もさらに一歩進められ、軍事境界線にあるソンドから山頂の見張り台跡まで歩くコースなどの開発が予定されているという。

南北平和を願う人々の念願を込めて建てられた「DMZ博物館」では、こうした韓半島の歴史がわかりやすく展示、紹介されている。平和の大切さに改めて心を寄せる機会にしたい。

総合リゾートから新規開業ホテルまで インセンティブツアーに最適なホテルが充実

江原道には、大型インセンティブに最適な総合リゾートから、ハイセンスで高級感ある新規開業ホテルまで、ホテルのファシリティが充実している。とくに平昌冬季五輪の開催を契機に、新規ホテルが続々とオープン、江原道に泊まる楽しさが倍増した。客室はもちろん、バンケットルームも充実しており、インセンティブツアーを盛り上げるテーマパーティや特別なイベントを開催するのに最適だ。江原道へのインセンティブツアーにおすすめのホテルを紹介しよう。

江陵 (カンヌン)



セントジョンズホテル St. John's Hotel

江陵の海沿いに2018年にオープンしたばかりの4つ星ホテル。広大な敷地には、オーシャンタワー、レイクタワー、パインタワーの3つのタワーからなる1071室の客室があり、それぞれに異なる景観が楽しめる。

また、各種バンケットルームはもちろん、海と一体となったようなインフィニティプール、スパやサウナ、フィットネス施設、屋外流水プールなどを備えており、ハイクオリティなリラクゼーションを求める宿泊客の人気を集めている。

バンケットルームは落ち着いたインテリアと高級感ある雰囲気、ハイセンスなパーティやフォーマルな企業イベントを企画するのに最適な施設となっている。

このうち、グランドボールルームは1214㎡で最大収容人数は750人。2分割して利用することも可能で、グループの規模に応じて活用できる。また、ボールルームは403㎡で最大収容人数は180人で、こちらも規模に応じて4分割して使用可能だ。



束草 (ソクチョ)



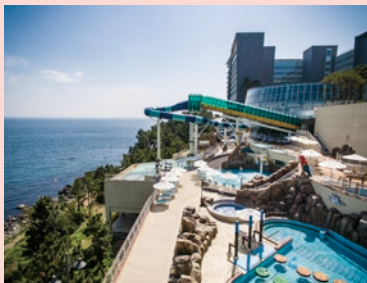
ロッテリゾート束草 Lotte Resort Sokcho

束草（ソクチョ）は美しい海に面したリゾート地。「ロッテリゾート束草」は2017年7月にオープンした4つ星ホテルで、韓流人気ドラマ「ボーイフレンド」の撮影地となったことから、韓国国内での人気が一段と高まった。ハイクラスなリゾート滞在と美しい海岸線の風景が満喫できるとして、国内外から高い人気を誇っている。

ホテル内にあるウォーターパークは室内2150㎡、屋外1万1900㎡の広さがあり、最大2500人が収容できる。また幻想的なエメラルド色の海と一体化したような気分を味わえるインフィニティプールも完備している。

グランドボールルームは広さ1157㎡、最大収容人数1000人を誇る。イベントの規模や内容に合わせて3つに仕切ることができ、天井高も6.5mあるため空間演出の自由度も高い。ロッテリゾートが誇る宴会サービスのノウハウも大きなポイントとなる。

165㎡規模で90人まで収容可能なバンケットルームの「メイプル」は、ラグジュアリーなイベントを演出するのに最適。室内から一望できる東海岸の眺望と、モダンなインテリアが特徴だ。イベントや人数の規模に応じて、様々なカンファレンスルームも備えている。広さ40㎡のVIPルームは、VIP用応接室や控室として活用できる。



ホテル トップ10 Hotel Tops 10

江陵・正東津の海岸沿いに立地するホテル トップ10（274室）は、2017年12月にオープンした4つ星ホテル。韓国には珍しい温泉大浴場を備えたスパ施設を有しており、温泉好きの日本人受けすること間違いなし。

金津温泉は、多様なミネラル成分を含有しており、糖尿や肝疾患、高血圧、アトピー性皮膚炎などの各種疾患に効能があると言われる。温泉大浴場の隣には、同じく全面ガラス張りのプール「アクアパーク」も備えており、開放感抜群の気持ちよさで人気を集めている。

レストランは3カ所あり、いずれも美しい海辺の景色を眺めながら贅沢な時間が楽しめる。なかでも15階にある「スカイラウンジ」は、屋上から海岸線のパノラマビューを楽しむことができ、特別なカクテルレセプションを開くのに最適な会場となる。

グランドボールルームは広さ781㎡、最大350人収容可能。また、287㎡・120人収容のコンファレンスルームは、大型イベントやワークショップにも利用できる。他にもセミナーや小会議に最適なミーティングルームを備えている。



スカイベイ鏡浦ホテル Skybay Gyeongpo Hotel

江陵の鏡浦ビーチと鏡浦湖の間というユニークな立地が特徴のスカイベイ鏡浦ホテル（538室）。平昌オリンピックの開催に合わせて2018年1月に開業したばかりの3つ星ホテルで、マリナーバイサンスを連想させるようなユニークな外観と、地上20階の高層建築の屋上にある眺望抜群のインフィニティプールが特徴。海と湖に面したヒーリング・リゾートで、全室テラス付きでどの部屋からも海か湖を眺めることができる。テラスにジャグジーを備えた客室もある。

グランドボールルームは670㎡で最大収容人数は500人。パーティやイベントの規模や内容に合わせて、さまざまな規模や形にアレンジできる。また、グランドボールルーム用のロビーが独立して設けられており、カクテルレセプションを伴ったディナーイベントにも最適な会場となる。設備面でもビームプロジェクターやスクリーンなどの設備が整い、セミナーやイベントに使用できる。



旌善

(チョンソン)

ハイワンリゾート High 1 Resort

ハイワンリゾート（High 1 Resort）は、スキー場やゴルフ場、カジノ、コンベンション施設、宿泊施設で構成される総合レジャー施設。リゾート名の「High 1」は、最上級のリゾートを目指すコンセプトを表している。併設するカジノは、韓国に17あるカジノのなかで韓国人が唯一入場可能なカジノとして人気。年間を通じて夜間の光のイベント「Loumiarte」も行われている。

ハイワンリゾートには、「江原ランドホテル」（477室）、「江原ランド コンベンションホテル」（250室）、「High 1ホテル」（197室）をはじめ、各種コンドミニアムもあり、大型インセンティブの受入に適している。

「江原ランド コンベンション ホテル」には、最大収容人数2040人のコンベンションホールや、1500人収容のボールルームがあり、コンベンションホールは3分割、ボールルームは6分割して使うこともできる。

「江原ランドホテル」にも最大収容人数1000人のグランドボールルームがあり、3分割して使用可能。また、併設するカジノはゲームテーブル200台、スロットマシン1360台やビデオゲームなども備え、韓国最大の規模を誇る。



アルペンシアリゾート Alpensia Resort

2018年の平昌冬季オリンピックのメイン会場の一つとして、スキージャンプ競技などが行われたのがアルペンシアリゾート。大関嶺に位置する韓国の代表的な国際リゾートで、複数のホテルやコンドミニアム、スキー場やゴルフ場、コンベンション施設、コンサートホールなどがある総合リゾートとなっている。

リゾート内にはインターコンチネンタル・ホテル・グループ（IHG）の韓国3番目のホテルである「インターコンチネンタル・アルペンシア・リゾート」（238室）、「ホリデー・イン・リゾート・アルペンシア」（214室）、コンドミニアムスタイルの「ホリデー・イン・アルペンシア・スイート」（419室）の3ホテルがあり、合計客室数は871室と、大型グループに対応できる。

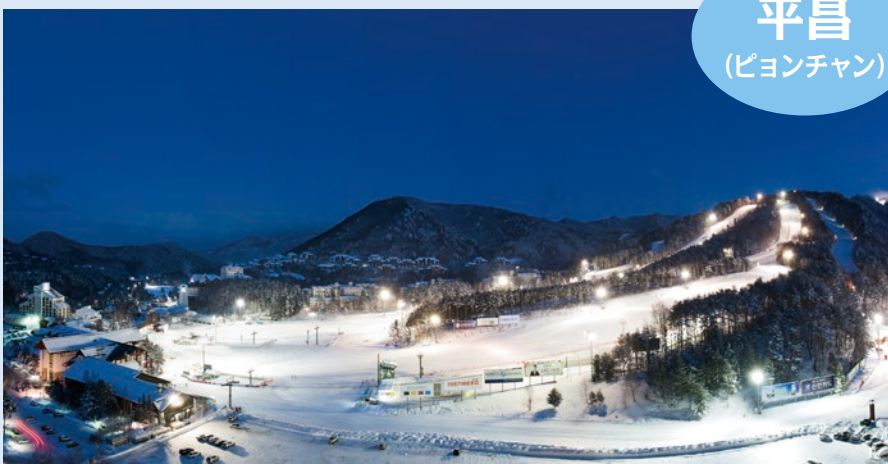
アルペンシア・コンベンションセンターは、広さ5475㎡、最大2000人まで収容可能。「グランドボールルーム」は、8カ国語の同時通訳システムや最先端の映像・音響設備を備え、モーターショーやファッションショーの会場としても活用されており、大型インセンティブツアーでの各種イベントに最適。また、大型スクリーンを備えた「オーディトリウム」なら、個性的なイベントやパーティを演出できる。

アルペンシアリゾートには、27ホールのゴルフコース「アルペンシア・カントリークラブ」や、標高700mで水遊びが楽しめるウォーターパーク「オーシャン700」、6面のスキースロープもあり、様々なアクティビティも楽しめる。



平昌

(ピョンチャン)



龍平リゾート Yongpyeong Resort

龍平リゾートは、ドラゴンピークの麓に位置する韓国を代表するウィンターリゾート。日本では、2002年に大ヒット韓流ブームの火付け役となったドラマ「冬のソナタ」や、昨年日本でも放映されて話題を集めた「トッケビ〜君がくれた愛しい日々〜」のロケ地としても知られる。

豊富な雪量と11月から4月まで滑走できるシーズンの長さで人気を集めており、28面ものスロープを14基のリフトを使って楽しめる。また、18ホールの「ヨンピョン・ゴルフ・クラブ」をはじめ計45ホールのゴルフ場もある。

リゾート内には「龍平リゾートドラゴンバレーホテル」（189室）をはじめ、「ヴィラコンドミニアム」（411室）、「タワー コンドミニアム」（177室）、「グリーンピア コンドミニアム」（326室）などがあり、大型のインセンティブツアーに対応できる。

バンケットルームは各ホテルにあり、目的に応じて使い分けられる。例えば「ドラゴンバレーホテル」には、最先端の映像・音響設備やステージを備えた最大500名収容のグランドボールルームなどを完備。「タワー・コンドミニアム」は最大300人まで10種類のバンケットホールを用意している。「グリーンピア・コンドミニアム」のバンケットからは、リゾートのスキー場や他のリゾート施設の眺望を楽しむことができ、記憶に残るイベントが開催できる。

「ヨンピョン・ドーム」では「アジアン・ウィンター・ゲーム」が開催されたこともあり、広大なリゾート敷地内の空間をアウトドアのイベントホールに見立てて屋外で大型イベントを開催することも可能だ。

インセンティブツアーに最適！

江原道のエリア別の主なホテルリスト

エリア	ホテル名		ミーティングホール数	最大収容人数	客室数
2018冬季オリンピックエリア					
平 昌	龍平リゾート	Yongpyeong Resort	22	3600人	1254室
	アルペンシアリゾート	Alpensia Resort	22	2000人	871室
	フェニックス平昌	Phoenix Pyeongchang	21	1050人	973室
	ケンジントンホテル平昌	Kensington Hotel Pyeongchang	18	1300人	306室
江 陵	シーマークホテル	Seamarq Hotel	8	506人	153室
	ラカイサンドパイン	Lakai Sandpine	12	800人	281室
	セントジョンズホテル	St.John's Hotel	9	750人	1071室
	スカイベイ鏡浦ホテル	Skybay Gyeongpo Hotel	5	500人	538室
	ホテル トップ10	Hotel Tops 10	6	683人	274室
旌 善	ハイワンリゾート	High 1 Resort	43	2040人	1827室
	パークロシェ・リゾート&ウェルネス	PARK ROCHE Resort & Wellness	6	750人	204室
横 城	ウェリーヒリーパーク	Welli Hilli Park	25	2000人	854室
DMZエリア					
束 草	ロッテリゾート束草	Lotte Resort Sokcho	9	1500人	392室
	ホテルマレモンズ	Maremons Hotel	7	800人	148室
	ケンジントンスターホテル	Kensington Star Hotel	3	400人	108室
高 城	パインリッジリゾート	Pine Ridge Resort	11	1000人	168室
	デルピノ ゴルフ リゾート	DEL Pino Golf & Resort	13	1400人	1014室
レジャー&K-Waveエリア					
春 川	エリシアン江村リゾート	Elysian Gangchon Resort	14	300人	222室
	ナミアイランド	Nami Island	4	250人	59室
洪 川	ビバルディパーク	Vivaldi Park	23	2400人	2446室
東海&山岳エリア					
東 海	東海保養温泉コンベンションホテル	Donghae Boyang Hot-spring Convention Hotel	5	1600人	223室
原 州	オークバレーリゾート	Oak Valley Resort	14	1000人	1102室
	ホテルインターブルゴ原州	Hotel Inter-Burgo Wonju	6	800人	152室
太 白	02リゾート	02 Resort	12	1000人	525室
襄 陽	ソルビーチホテル&リゾート襄陽	Sol Beach Hotel & Resort Yangyang	6	750人	300室
寧 越	東江シスターリゾート	Donggang Cistar Resort	7	700人	300室
三 陟	ソルビーチホテル&リゾート三陟	Sol Beach Hotel & Resort Samcheok	10	550人	709室

江原道へのインセンティブツアーに手厚い支援策 30名以上・江原道内1泊以上の団体対象に

江原道では、インセンティブツアー向けに手厚い支援策を準備している。支援対象は、江原道に1泊以上滞在する30名以上のインセンティブ団体で、グループの規模に応じて様々な支援策を提供している。

30～99名の小規模団体は、江原商品券(5000ウォン)または記念品の中から好みの支援策を選ぶ。

100～499名の中規模団体では、江原商品券または記念品の提供に加えて、歓迎行事、歓迎公演、体験入場料のいずれかの支援、または事前視察のための道内滞在費の一部補助の中から1つを選んで支援が受けられる。

さらに、500名以上の大規模団体なら、これらの支援策に加えて、さらなる追加支援が受けられる。追加支援策については、事前に協議を行うことで、各団体のニーズに合った支援策をアレンジして提供する。

近年、東南アジアなどから江原道を訪れるインセンティブツアーは増加傾向にあり、こうした手厚い支援策が誘致に寄与している。また、インセンティブ団体の受入ノウハウも蓄積されつつあり、規模の大小を問わず、江原道へのインセンティブツアーを企画しやすい環境が整っている。

江原道へのインセンティブツアーを企画する際のご相談や、インセンティブ支援策などに関するお問い合わせは、江原道観光広報事務所までお気軽にご連絡を。



記念品



江原商品券



歓迎パナー



歓迎公演

江原道 企業インセンティブ支援

●支援基準

区分	項目	支援内容	備考
基本項目	江原商品券	江原商品券(5千ウォン)	
	記念品	記念品支援	
選択項目	歓迎行事	江原道内晚餐場所利用料一部	訪問規模、日程構成により協議
	歓迎公演	江原道から提供する歓迎公演	行事人員100名以上
	体験入場料	入場料または体験費用支援	雪岳山、南怡島除外
特別支援	FAMツアー	事前視察のための企業関係者の道内滞在費一部	

●支援手続き

- 1) 現地旅行会社と商品化及び支援内容事前協議
- 2) 旅行会社支援要請公文発送

●支援条件

- 道内1泊以上滞在、最小出発人数30名以上
- 予算消尽時まで申請書受付基準で進行
- 集客結果及び広告実績報告に関する結果報告書提出

●団体規模別支援範囲

区分	人数	支援内容
小規模	30～99名	基本項目の中から1つ
中規模	100～499名	基本項目の中から1つ+選択項目又は特別項目から1つ
大規模	500名以上	中規模団体基準+追加支援(事前協議)

お問い合わせは



江原道
GANGWON PROVINCE

江原道観光広報事務所

TEL : 03-5369-1860 平日10:00～17:00

MAIL : gangwon@star.odn.ne.jp

50 years

go korean

KOREAN AIR

大韓航空日本地域サービスセンター(9:00～19:00/年中無休)
0088-21-2001 / 06-6264-3311(携帯電話・一部IP電話)
www.koreanair.com